

マザーレイクゴールズ（MLGs）の策定と推進について

滋賀県は、琵琶湖に関わる多様な主体とともに、「琵琶湖」を切り口とした2030年の持続可能社会への目標であるマザーレイクゴールズ（以下「MLGs」と言います。）を策定しました。

1. MLGs の策定

令和3年7月1日に「マザーレイクゴールズ賛同者会議」を開催し、「持続可能な開発のための2030アジェンダ」を参考に、取組の目標（マザーレイクゴールズ）やターゲット、指標のほか、基本理念や推進体制等を記載した「提案文書」である「マザーレイクゴールズ（MLGs）アジェンダ」を策定しました。

賛同者会議はオンラインで開催され、約100名の賛同者が出席しました。



賛同者会議では、MLGsが、石けん運動から「びわ湖を守る水環境保全県民運動」や「水環境を守る生活推進協議会」に、そして「マザーレイク21計画」の第1期における各地の流域協議会や第2期のマザーレイクフォーラムへとつながる、自分たちの環境は自分たちで守ろうとする“自治”と、県民と行政が協力しな

がらそれを達成しようとする“連携”の精神を受け継ぐものを示すため、マザーレイクフォーラムからMLGsへの「引継式」を行いました。

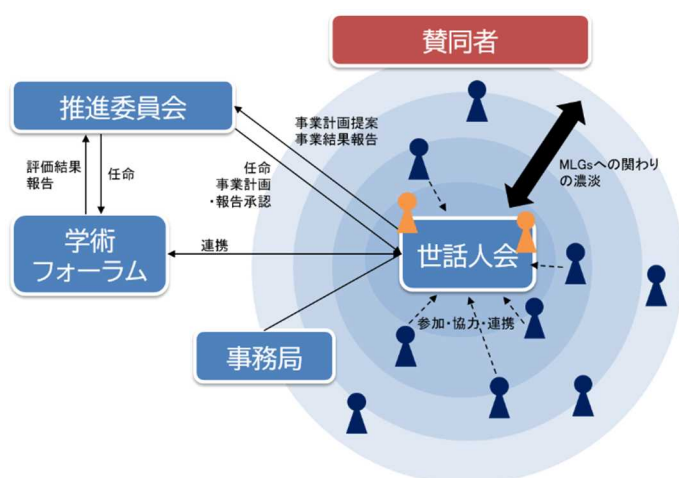
マザーレイクゴールズの推進委員・世話人がそれぞれ琵琶湖への思い（びわ湖との約束）を表明し、琵琶湖環境保全と琵琶湖環境保全を通じた持続可能社会実現の決意を新たにしました。



2. MLGsの推進体制

MLGsの推進体制の運営は、当面の間、県が担うこととし、「マザーレイクゴールズ推進委員会」を設置しました。

また、マザーレイクゴールズ推進委員会は、地域での活動促進や団体間をつなぐ役割を担う「世話人」および学術的知見に基づき琵琶湖や指標の状態をチェックする「学術委員」を任命し、それぞれから成る「世話人会」、「学術フォーラム」を設置することとしました。なお、マザーレイクゴールズ推進委員会は、審議・重要事項にかかる意思決定機関であり、世話人会は、ワークショップ等の事業の企画・実施をするための執行機関と位置づけています。



マザーレイクゴールズ推進委員	マザーレイクゴールズ世話人
石河 康久 滋賀県琵琶湖環境部長	村上 悟 特定非営利活動法人碧いびわ湖代表理事
中野 伸一 京大大学生態学研究センター長	上田 隼也 一般社団法人インパクトラボ代表理事
井手 慎司 滋賀県立大学環境科学部教授	吉武 莞 一般社団法人インパクトラボ理事
上田 洋平 滋賀県立大学地域共生センター講師	溝江 愛未 エイムアイ・クリエイティブオフィス
西村 亜智 株式会社日吉 総務部総務課	佐藤 祐一 琵琶湖環境科学研究センター専門研究員
辻 博子 しがローカルSDGs研究会事務局長	三和 伸彦 滋賀県琵琶湖環境部技監（事務局長）
川本 勇 株式会社ユーストン代表取締役	

3. MLGs の推進のための取組

(1) 賛同者数等

賛同者数：1,028 者（令和 3 年 11 月 11 日現在）

ロゴマーク利用届出数：76（令和 3 年 11 月 15 日現在）

(2) 主催・共催事業

7 月の取組開始以来、別紙 1 「MLGs 推進委員会 主催・共催事業実施記録」のとおり、精力的にワークショップ等の事業を実施しています。

	実施回数	参加人数
主催事業	16	554
共催事業	3	221
合計	19	775

・令和 3 年 11 月 15 日現在

これらの企画は多くが大学生や NPO からの持ち込み企画であり、今のところ、琵琶湖に関わる多様な主体の自主的な活動を促すという MLGs の目的に則して事業が実施できています。



第 3 回 MLGs グローバルミーティング×第 18 回世界湖沼会議 びわ湖・滋賀セッションの様子

(3) 講師依頼

また、企業や団体から MLGs について多数の講演依頼を受けています。これらの講演から具体的な事業につながるケースもあり、別紙 2 「MLGs に関する講演、説明会実績一覧」のとおり、積極的に講師を引き受けています。

今後も積極的に取組を進めることにより、琵琶湖保全に係る多様な主体の活動をつなげ、自主的な活動を促してまいります。

なお、各事業の結果についてはMLGsに関する情報を一元的にまとめたウェブサイト「MLGs WEB」に掲載しておりますのでご覧ください。また、SNSでも積極的に情報発信しています。

MLGs公式 WEBサイト「MLGs WEB」
<https://mlgs.shiga.jp>

MLGs公式 SNS アカウント

MLGs公式 Twitter
 @MotherLakeGoals

MLGs公式 Instagram
 @motherlakegoals

MLGs公式 facebook
fb.me/motherlakegoals

MLGs公式 YouTube チャンネル
 マザーレイクゴールズ channel

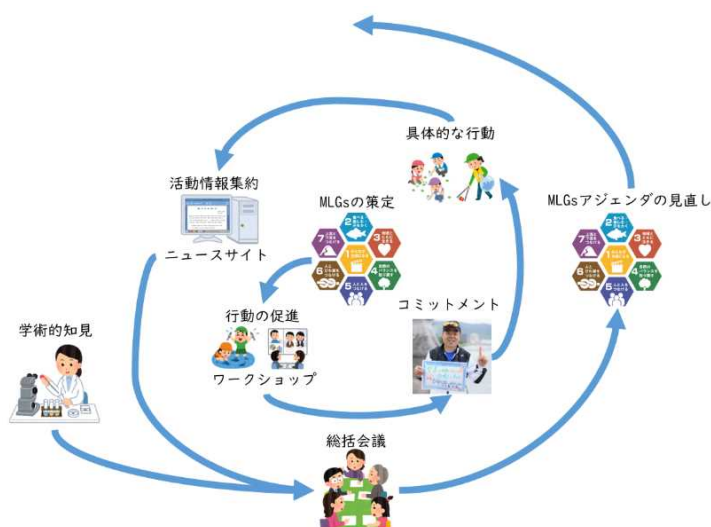
4. 今後の取組について

MLGs の 1 年目となる令和 3 年度の取組について客観的に評価できるよう、現在、学術フォーラムの設立を準備しているところです。

また、令和 4 年度については、MLGs 達成の進捗状況を議論し評価するため、最新の学術的知見と多様な主体の活動の経験を持ち寄り、「総括会議」を開催します。

総括会議の重要な役割は、議論と評価に基づきマザーレイクゴールズ（MLGs）アジェンダを見直し、新たな活動につなげていくことです。

気候危機の状況は最新の学術的知見を超えて加速しており、持続的な社会を目指す MLGs の取組も状況に応じて見直す必要も生じるでしょう。不確実性を前提とし、総括会議での議論と評価を踏まえて、アジェンダ、また MLGs それ自体も見直して取り組む順応的管理を行いたいと考えております。



no	事業名称	開催日	場所	参加人数	概要	区分
1	第1回月イチおしゃべり会	7月17日	オンライン	17	気軽に賛同者同士が交流することを目的に、特にテーマを定めずフリートークを行った。	主催
2	MLGs WEB ライター講座第1回	7月28日	オンライン	14	MLGs WEB「マザーレイクニュース」ライター養成講座第1回として、MLGsに関するレクチャーを行った。	主催
3	MLGs WEB ライター講座第2回	7月31日	滋賀県大津合同庁舎	14	MLGs WEB「マザーレイクニュース」ライター養成講座第2回として、記事の作成・写真撮影等、取材と記事作成にかかる基本事項についてレクチャーを行った。	主催
4	グローバルミーティング vol.1	8月23日	オンライン	25	県内の学生と留学生が、英語で琵琶湖とMLGsについて議論するオンラインワークショップ。中学生から大学生まで幅広い層が参加。	主催
5	MLGs WEB ライター講座 記事発表会	8月25日	オンライン	20	ライター講座の総まとめとして、受講生が実際に取材し作成した記事の内容を発表する発表会。	主催
6	第2回月イチおしゃべり会「キャリアデザイン～企業の立場で琵琶湖の環境保全に関わるには？～」	9月8日	オンライン	16	気軽に賛同者同士が交流することを目的としたオンライン会。第2回は「キャリアデザイン」をテーマに、セブイレブン・ジャパンからゲストを招いて話題提供していただいた。	主催
7	玉園中学校環境学習	9月27日	東近江市立玉園中学校	102	玉園中学校1年生を対象とし、「MLGs13のゴールに貢献する、自分ができることはなにか」を考える環境学習。	主催
8	守山北中学校環境学習	9月28日	守山市立守山北中学校	90	「MLGsの13のゴールに貢献する、自分ができることはなにか」を班ごとに考えるワークショップ形式の環境学習(マザーレイクゴールズアクションゲーム使用)。	主催
9	守山北中学校環境学習	9月28日	守山市立守山北中学校	60	「MLGsの13のゴールに貢献する、自分ができることはなにか」を班ごとに考えるワークショップ形式の環境学習(マザーレイクゴールズアクションゲーム使用)。	主催
10	グローバルミーティング for kids (グローバルミーティング vol.2)	10月1日	オンライン	22	8月23日に高校生・大学生向けに実施した「MLGsグローバルミーティング」の第2弾として、小学生向けに実施。	主催
11	クリエイティブスタディ in BIWAKO	10月15日 10月22日	オンライン	10	成安造形大学から講師を招き、地域実践領域クリエイティブ・スタディーズコースにて実際に行われている「今日の一枚」という手法を用いて日常生活の中からMLGsを再発見するための創造力を養うためのワークショップを開催した。	主催
12	まちスポ大津「体感びわ湖学」	10月23日	ブランチ大津京	21	琵琶湖でのSUP体験&投網体験と、MLGsにかかるワークショップ(マザーレイクゴールズアクションゲーム)を組み合わせた体験型ワークショップ。	共催
13	「マイクロプラスチック・ストーリー」上映会	10月30日	オンライン	70	MLGs賛同団体である滋賀ローカルSDGs研究会主催の映画上映会。学生によるシンポジウムの企画等に協力。	共催
14	湖南・甲賀環境協会 水質事故被害拡大防止訓練見学会	11月5日	甲賀市水口町	8	湖南・甲賀環境協会主催の「水質事故被害拡大防止訓練」の見学会を行った。水質事故被害拡大防止訓練とは、油流出等の水質事故が発生した場合に、迅速かつ的確な措置を講じ、被害拡大の防止を図ることを目的とした訓練であり、琵琶湖の環境保全を支えてきたのは、このような地道な訓練、目立たないけれど重要な取組を続けてきた地元企業の意識の高さであることを周知する見学会を実施したものの。	主催
15	琵琶湖博物館を回ってMLGsを見つけよう！～MLGsってなあに？～	11月6日	琵琶湖博物館	30	琵琶湖博物館との共催事業。琵琶湖博物館の展示をめぐってMLGsを探しながら、琵琶湖の環境とMLGsについて学ぶイベント。小学校3年生～6年生対象。	共催
16	第3回MLGsグローバルミーティング×第18回世界湖沼会議びわ湖・滋賀セッション	11月10日	オンライン	70	MLGsグローバルミーティングの第3回を、第18回世界湖沼会議 びわ湖・滋賀セッションの一環として開催。学生が琵琶湖・MLGsについて世界に発信	主催
17	第3回月イチおしゃべり会「教えてコスモさん！地域版SDGsってどうですか？」	11月12日	オンライン	15	気軽に賛同者同士が交流することを目的としたオンライン会。第3回は高木超氏を招き地域版SDGsについて意見交換した。	主催
18	五個荘小学校環境学習	11月12日	東近江市立五個荘小学校	60	「MLGsの13のゴールに貢献する、自分ができることはなにか」を班ごとに考えるワークショップ形式の環境学習(マザーレイクゴールズアクションゲーム使用)。	主催
19	守山北高校環境学習	11月15日	守山北高校	11	守山北高校が取り組む主催者教育授業の一環として、MLGsと自分とのつながりを考えるワークショップ形式の授業を実施した。	主催

別紙2 令和3年度 MLGsに関する講演、説明会実績一覧

	講演会、研修会等の名称	実施日	備考
1	びわ湖大津プロバスクラブ 例会	7月15日	びわこ大津プロバスクラブは大津ロータリークラブのシニア世代(60歳以上)のメンバーが豊富な経験や知識を活かして社会貢献をする団体。 「琵琶湖版SDGs『マザーレイクゴールズ(MLGs)』の概要と私たちにできること」をテーマに講演した。
2	(公社)滋賀県環境保全協会「マザーレイクゴールズ(MLGs)研修会」	7月20日	公益社団法人滋賀県環境保全協会は、多くの県内企業が会員となり、県内における環境に関する技術の進歩向上および知識の普及ならびに民間の自主的な環境保全への取り組みの推進をはかり、もって快適な生活環境の確保に寄与する事を目的とする協会。
3	NPO法人預かりものを戻す会 学習講演会	7月24日	『預かりものを戻す会』は、地球環境とりわけ、びわ湖を中心とする滋賀の環境を「預かりもの」と認識する者が集まり、全ての市民が環境と共生しながら、いきいきと賑わいのある暮らしを営めるよう、あるべき滋賀の自然に戻すための様々な運動を展開し、持続可能な社会の構築に資することを目的とするNPO法人。
4	湖南・甲賀環境協会「環境担当者研修会」	7月27日	湖南・甲賀環境協会は、公害の発生を未然に防止するため、公害防止に関する技術の進歩向上と知識の普及を図り、自主的な公害防止体制の確立を推進することにより、地域の豊かな環境を確保することを目的に1978年に設立された、県内初の環境保全の団体。
5	立命館大学 令和3年度「びわ湖の日」連続講座	8月24日	滋賀県では、「びわ湖の日」関連事業の一つとして、立命館大学との包括連携協定に基づく協働により、平成27年度から持続可能な社会を実現するため主体的に行動することができる人育てに向けた連続講座を開催している。本年の講座の一つとして、「琵琶湖版SDGs『マザーレイクゴールズ(MLGs)』の概要と私たちにできること」をテーマに講演した。
6	環境省主催 シンポジウム「健全な水循環と新たな地域づくり」	8月26日	環境省が、「水の日」関連行事として、健全な水循環と地域づくりに関する取組について、有識者からの話題提供や地方公共団体の先進的事例を紹介すると共に、地域における健全な水循環の取組を推進していくために必要な視点や要素等について意見交換することを目的として開催したシンポジウム。 地域の先進事例の一つとして、MLGsについて発表した。
7	滋賀県立大学 夏季集中講義「SDGsと滋賀のグローバルイノベーション」	8月27日	SDGsに関する理解を深めるために県立大学が開講した、県内の大学生を対象として単位互換授業。滋賀県のSDGsに関する事例としてMLGsについて講義した。
8	ミス・アース・ジャパン滋賀大会事務局主催「ジュニアアース滋賀オンライントレーニング」	8月28日	ミス・アースは、2001年に第一回目の世界大会が行われて以来、ミス・ユニバース、ミス・インターナショナル、ミス・ワールドと並ぶ世界4大ミスコンテストのひとつとして数えられるミスコンテストであり、地球環境保護に対する意識や活動を重視していることが大きな特徴。 滋賀県の環境に関するレクチャーとして、MLGsを説明した。
9	滋賀県旅館ホテル生活衛生同業組合 SDGsワークショップ	9月2日	滋賀県旅館ホテル生活衛生同業組合は、滋賀県の旅行者者183者が加盟する組合。 組合としてSDGs宣言をすることを検討するワークショップの中で、琵琶湖版のSDGsであるMLGsについて説明した。
10	近江八幡商工会議所 工業部会と近江八幡工業クラブとの合同研修会「脱炭素社会の実現に向けて中小企業にも求められること」	9月14日	脱炭素社会の実現に向けて中小企業にも求められることをテーマとする研修会の中で、MLGsの概要等について説明した。

	講演会、研修会等の名称	実施日	備考
11	滋賀県産業資源循環協会 令和3年度産業廃棄物処理に関する研修会	9月16日	滋賀県産業資源循環協会は、産業廃棄物を適正に処理できる体制の整備が必要であることの認識に立って、産業廃棄物処理業者が相互に連携を深めながら、産業廃棄物の適正処理、資源化、再生利用に努めるとともに、各種の調査研究、情報の収集と処理技術の向上を図ることを目的とする団体研修の一環として、琵琶湖のごみ問題に重点を置きMLGsについて説明を行った。
12	びわ湖大津プロバスクラブ 例会	9月16日	「琵琶湖におけるマイクロプラスチック」をテーマとして講演するとともに、MLGsについて説明した。
13	同志社中学校環境学習	9月20日	同志社中学校から依頼があり、オンラインでMLGsをテーマとした環境学習を行った。
14	全国地域婦人団体連合会 近畿ブロック会議講演会	9月29日	全国地域婦人団体連合会は、全国の加盟都道府県市団体を通じた地域婦人会・女性会、地域女性団体の全国ネットワーク組織。全地婦連近畿ブロックに属する団体の会員および関係者を対象に、「琵琶湖でいま何が問題？ 私たちにできることは？」をテーマに講演を行った。
15	第13回“いい川”“いい川づくり”ワークショップ in中部	10月2日	“いい川”“いい川づくり”ワークショップは、7月7日の「川の日」を記念した市民実行委員会主催の大会として1998年にスタートして以来、20年以上の歴史を持つ、全国の河川関係者が集うイベント。MLGsをテーマに発表した。
16	立命館慶祥中学校環境学習	10月6日	立命館慶祥中学校は、北海道の私立中学校。「修学旅行の一環として、滋賀県庁に寄り、MLGsについて講義を受けたい」との依頼があり、緊急事態宣言の発令により県庁での講義はかなわなかったが、修学旅行の事前学習として10月6日にオンライン学習会を実施したものの。
17	令和3年度産業廃棄物処理に関する研修会	10月6日	(11と同じ)
18	びわ湖東北部地域連携協議会 長浜バイオ大学交尾	10月10日	びわ湖東北部地域連携協議会は、彦根・長浜地域におけるSDGsを活用した、学術文化教育基盤形成を目的とする大学・短期大学・地域連携のプラットフォーム。長浜バイオ大学主催の単位互換授業の中でMLGsについて講義した。
19	滋賀経済産業協会環境委員会	10月27日	滋賀経済産業協会は、滋賀の業種の垣根を越えた地元企業から大手企業まで400社を超える企業が参加し、単体では解決できない課題に取り組む団体。環境委員会所属企業担当者を対象に、「琵琶湖環境の課題とマザーレイクゴールズ(MLGs)」をテーマに講演した。
20	霞ヶ浦市民協会	10月28日	霞ヶ浦市民協会は『泳げる霞ヶ浦』の実現に向けて活動する団体。視察に来県された方に「多様な主体との連携のあり方 ～マザーレイクフォーラム、MLGs、小さな自然再生を例として～」をテーマに講演した。
21	滋賀短期大学「地域づくり論」	10月29日	滋賀短期大学ビジネスコミュニケーション学科では、「地域づくり論」として県行政の実務者の講義時間を1コマ設けている。県政のトピックとしてMLGsについての講義を依頼されたもの。
22	大津東ロータリークラブ/一般社団法人e-kagaku国際科学教育協会主催 第1回 びわ湖環境シンポジウム「宇宙産業とデータサイエンス人材の育成を地方創生の原動力に」	11月14日	一般社団法人e-kagaku国際科学教育協会は、「10年後の科学技術者の育成」をテーマに、子どもたちに最先端の科学の素晴らしさを伝える活動を行っている団体。小学生から大学生の琵琶湖のフィールドに実施した調査研究を発表するシンポジウムにおいて、MLGsについて紹介した。